

暮らしの瓦版

2013年
2月号

(通算第172号)

この瓦版は再生紙使用です

～2月《如月》～

1日	テレビ放送記念日	8日	針供養
3日	節分	11日	建国記念の日
4日	立春	14日	聖バレンタインデー
6日	海苔の日	20日	万国郵便連合加盟記念日



節分について

節分(せつぶん・せちぶん)とは、一年における各季節(四季)の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のことです。江戸時代以降は特に立春(毎年二月四日)の前日を指すようになりました。

季節の変わり目には邪気(鬼)が生じるといわれ、それを追い払うための悪霊ばらいの儀式が行われており、それが節分の元になったといえます。節分当日の夕暮れに、柵(ひいらぎ)の枝に鰯(いわし)の頭を刺したものを戸口に立てて魔除けとして置いたり、寺社で豆まきをしたりするようになりました。

豆まきといえば、まかれた豆を自分の年齢(数え年)の数だけ食べる、というのが一般的です。(「うんちやうちや、年齢よりせーつ多く食べる」といって「もあめんじです」)。豆は「魔滅(まめ)」「通い、鬼」「豆をぶつけることにより邪気を追い払い、一年の無病息災を願う」という意味合いがあります。

かけ声は通常「鬼は外、福は内」ですが、鬼を祭神または神の使いとしている神社などでは、鬼に対しても「内」と声かけをするケースがあります。

豆まきに使用する豆は炒った大豆(炒り豆)です。炒り豆を使用する理由としては、節分は旧年の厄災を負って払い捨てるものであるため、まいた豆から芽が出ては不都合だったからだといわれています。近年では特に、大豆より拾いやすく、地面に落ちても実が汚れない「落花生」をまくケースも多くなっています。かつては豆のほかにも、米、麦、かち栗、炭なども、まくのに用いられたそうです。

節分の時期になると、スーパーマーケットなどでは節分にちなんだ特設コーナーが設けられ、福豆(ふくまめ)が売られます。厚紙の鬼の面がおまけとしてついている事もあり、父親などがそれをかぶって鬼の役を演じて豆まきを盛り上げたりします。しかし元来は、家長たる父親あるいは年男が豆をまいて、鬼を追い払うのが習わしでした。

また、恵方巻(えほうまき)の風習も最近関東でも一般的になりつつあります。節分に食べると縁起が良いとされる太巻きで、節分の夜にその年の恵方(今年には南南東)に向かい、目を閉じて一言も喋らずに願い事を思い浮かべながら丸かじりするのが習わしとされています(地方により多少の差異があります)。

聖バレンタインデー

二月一四日は聖バレンタインデーです。この「バレンタイン」とは、三世紀にローマで殉教したキリスト教徒の名前です。当時のローマ皇帝「クラウディウスⅡ世」は、兵士の戦意に支障をきたすとして、若者たちの結婚を禁じていました。

バレンタインは若者たちを哀れに思い、密かに結婚させていたのですが、皇帝がそれを知り、バレンタインを処刑してしまいました。その処刑された日が二月一四日です。殉教したバレンタインは、後に勢力を増したキリスト教によって聖人と認定されました。

その後のローマにおいては、毎年二月一四日に未婚の女性たちの名前が書かれた紙を集め、翌日に未婚の男性がその紙を引き、紙に書かれた名前と付き合うといった伝統的な祭りがありました。しかし、この祭りは風紀が乱れるとしてキリスト教の聖人を奉る行事に変更となり、バレンタインがその行事の守護聖人となったのです。

バレンタインデーにチョコレートを贈る習慣自体は日本特有のものではなく、イギリスのチョコレート会社カドバリー社が、一八六〇年代にハート型のチョコレートボックスを製造し広まったものが最初といわれています。

日本では、一九三六年に神戸のモロソフ洋菓子店が、英字雑誌に「バレンタインチョコ」の広告を出したのをはじめとして、様々な菓子メーカーが普及に努めてきましたが、当時はあまり広まりませんでした。一九七〇年頃から、小学校高学年から高校生までの女性から男性にチョコレートを贈る習慣が次第に広まりました。

以来、日本のチョコレート年間消費量の二割程度がこの日前後に消費されるといわれるほどの国民的な慣習となっっています。最近では、いわゆる「義理チョコ」が減り、女性同士で交換しあう「友チョコ」、男性から女性に贈る「逆チョコ」、自分へのご褒美として買う「自分チョコ」が増えています。

「ヒートショック」対策

「ヒートショック」とは、急激な温度変化が体に及ぼす悪影響のことです。急激な血圧の変化などが心臓に負担をかけたりするわけです。(毎年一万人以上の方が入浴中に亡くなっているそうです)

特に冬場は、暖房の効いた部屋から廊下やトイレ、浴室に行くと、温度差によって体に負担がかかりやすいのです。対策としては、各部屋の温度差をいかに少なくするか、ということになります。省エネルギー住宅はこの点も考慮して設計されています。代表的なヒートショック対策の中から二つほど挙げさせていただきます。

◎シャワー給湯

浴槽にお湯を入れる際、蛇口からではなくてシャワーを使って給湯する方法です。一五分で浴室内の温度を一〇度上げられるというデータもあります。簡単ではありませんが、お湯を適量で止めるには、タイマーなどを併用するなどの工夫が必要かもしれません。

◎水回りの暖房設備

浴室、脱衣所、トイレなどに暖房設備を設置する方法です。ヨーロッパ諸国では、九割以上の設置率という国も珍しくないそうです。日本でも、健康に生活するための必需品と考える方が増えているそうです。

『山岳遭難』すると……

近年、登山が流行してはいますが、それに伴い遭難事故も多くなっており、前年よりも多いペースで増えているそうです。

万一、山で遭難事故を起こしてしまった場合は、家族などにかんりの費用負担が発生するそうです。民間のヘリコプターを頼むと、三分で五〇万円位が相場で、一回の捜索だけで約二〇〇万円かかると言われています。また、民間の遭難対策協会の人たちに出動をお願いすると、一人あたりの日当が三万円（冬場なら一〇万円）が相場で、その他に交通費、宿泊代が請求される事になります。当然金額は数百万円〜数千円になることを覚悟しなくてはなりません。「それほど高い山ではないから」などと軽く考えずに、準備をしっかりし、余裕をもった計画をたて、保険加入もして登山を楽しみましょう。

自然を大切に
ゴミは持ち帰りましょう！！



漢字読めますか？

- | | |
|-------|------|
| ① 十八番 | ② 野点 |
| ③ 海女 | ④ 心太 |
| ⑤ 早生 | ⑥ 欠伸 |
| ⑦ 山車 | ⑧ 雑魚 |
| ⑨ 灰汁 | ⑩ 長閑 |

『稻倉山（いななくみさん）』

鐺川にそって甘楽の野に入ると、稻倉山の高さが増して感じられます。稻倉山は信仰の山でもあります。

古代から農耕の神として信仰され、山麓の各部落では、現在でもいくつかの登拝路が使われています。毎年五月三日には大祭が行われ、地元の人々が数多く登頂します。

稻倉の神と榛名の神の争いの伝説は今でも語り伝えられています。両者が争う時は、必ず大きな夕立があるとされています。これも農耕の守護神として信仰されてきたからでしょうね。



↑

誤変換の広場

- ◎行き帰りの時間
↓生き返りの時間
- ◎同じ事言って
↓女事故と言って
- ◎凍るほどに冷たい
↓凍るほど煮詰めたい
- ◎未だ継続
↓今だけ遺族
- ◎応援団
↓追う縁談

- 【漢字読めますか解答】
- ①おはこ
 - ②のだて
 - ③あま
 - ④ところてん
 - ⑤わせ
 - ⑥あくび
 - ⑦だし
 - ⑧さく
 - ⑨あく
 - ⑩のどか

暮らしの雑学・豆知識



「冬季うつ病」

冬の時期に、こんな経験はありますか？

- ①ごはん、パン、甘いものを食べ体重が増える
- ②普段より睡眠時間が長く、朝起きられなくなる
- ③一日中横になりたいくらい、何をすることもおっくうになる
- ④以前ならやれた仕事があまくできない～

実はこれ、「冬季うつ病」かも知れません。この主な原因は、日照時間の減少です。光を浴びる時間が減ると、睡眠ホルモンと呼ばれるメラトニンや、欠乏すると鬱症状につながるセロトニンなどの神経伝達物質のバランスが崩れてしまうのだそうです。予防には紫外線対策をしつつ、日光を浴びる時間を増やすのが良いそうです。

今月のお掃除ポイント

◎キッチンのお掃除

油などのしつこい汚れが多いキッチン。すぐに拭けば簡単に落ちる汚れも、そのままにすると落としにくくなります。汚れをなるべく早くとるよう心がけましょう。クリームクレンザー、スチールウール、歯ブラシなどをうまく使うと、流し台のシンクや蛇口のしつこい汚れもきれいに落とせます。三角コーナーや排水口のゴミ受けは、コンビニ袋に入れて専用の洗剤で漬け置き洗いしましょう。

求人

並榎展示場の近くにお越しの際には是非、お立ち寄り下さい。



高崎市並榎町41-1
027-384-4777

株式会社大五建設では、求人を行っております。募集職種：外注の大工、施工管理。年齢：三十五歳以下。詳細はお問合せ下さい。ご連絡お待ち申し上げます。

発行 リフォーム・増築・改築・新築は 地元

株式会社大五建設

本社 TEL 0274-67-2721
富岡市上小林216-2

四季の住まい株式会社

本社 TEL 027-328-6544
高崎市中豊岡町824-1

ブログ 【<http://daigo.kazelog.jp/>】
ホームページ 【<http://www.daigo-kensetu.co.jp/>】
Eメール 【daigo-tm@daigo-shiki.jp】

ブログ 【<http://shikinosumai-blog.net/>】
ホームページ 【<http://www.shikinosumai.net/>】
Eメール 【shiki@daigo-shiki.jp】